
[成果情報名] サラダに適した大葉シュンギク「Tiger Ear」の特性と収穫適期

[要約] 大葉シュンギクの「Tiger Ear」は「鯉城シュンギク」や「大葉シュンギク」に比べてえぐ味や苦みが少なくサラダに適する。また、「Tiger Ear」の夏出し作型における収穫適期は草丈20～25cmが適当である。

[キーワード] 大葉シュンギク、「Tiger Ear」、サラダ、収穫適期

[担当部署] 豊前分場・野菜水田作チーム

[連絡先] 0930-23-0163

[対象作目] 野菜

[専門項目] 栽培

[成果分類] 品種選定

[背景・ねらい]

野菜の需要を維持・拡大するには、新たな需要を産み出す新食材を開発する必要がある。シュンギクは主に鍋物として利用されているが、最近、需要が拡大している手軽に食べられるサラダ用野菜の食材としても利用が期待できる。

そこで、市販の大葉品種について食味や生育特性を明らかにし、えぐ味が少なく収量性に優れるサラダ用シュンギクを選定するとともに、夏出し作型における収穫適期を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「Tiger Ear」は、「鯉城シュンギク」や「大葉シュンギク」に比べてえぐ味や苦味が少なく、サラダに適する（表1）。
2. 「Tiger Ear」は、「鯉城シュンギク」や「大葉シュンギク」と同等の収量で、葉色が淡い。また、「大葉シュンギク」に比べて生育が早く、葉に切れ込みがある（表2、図1）。
3. 「Tiger Ear」の夏出し作型において、食味は収穫時の草丈に関係なく「大葉シュンギク」に比べてえぐ味が少なく、サラダ用として食味評価が高い（表3）。
4. 「Tiger Ear」の収穫時期は、収量が多い草丈20～25cmが適当で、夏出し作型において生育日数が33～37日で、収量は10a当たり1.4～2.3tとなる（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. サラダ用野菜の栽培技術資料として活用できる。
2. 「Tiger Ear」の種子は、EvergreenSeeds (Evergreen Y.H. Enterprises Anaheim, CA U.S.A. www.evergreenseeds.com) で購入できる。
3. 食味や食感が従来のシュンギクと異なるため、調理方法や食べ方の提案が必要である。
4. 栽培上の主な注意点として、雨よけハウスで株間10cm、条間20cm、4条植えの32,000本/10a。施肥量はN-P₂O₅-K₂O=10-6-7 kg/10a。収穫までの生育日数は夏出しで30～40日、冬出しで50～70日。高温、長日条件で抽だい、開花する。

[具体的データ]

表 1 主要品種の夏出し作型における食味評価 (平成18年)

品 種	えぐ味	苦味	硬さ	歯触り	総合評価
Tiger Ear	1.1*	0.8*	0.3	0.3	0.9*
鯉城シュンギク	0.1	0.1	0.0	0.2	0.3
大葉シュンギク	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



左:「大葉シュンギク」(慣行品種)
右:「Tiger Ear」

図 1 播種25日後の「Tiger Ear」(平成18年)

注) 1. 6月29日に播種し、8月3日に収穫(図1も同じ)。

2. 食味は「大葉シュンギク」を0とし、パネル 8~15名が-2(不良)~+2(良)の5段階で評価、総合評価はサラダとしての適不適。

3. *は「大葉シュンギク」に対して5%水準で有意差あり。

表 2 主要品種の生育特性 (平成17~19年)

品 種	冬出し				夏出し			
	生育日数	草丈	収量	葉色	生育日数	草丈	収量	葉色
	日	cm	t/10a		日	cm	t/10a	
Tiger Ear	73	21.4	1.59	24	37	18.5	1.19	21
鯉城シュンギク	73	22.5	1.67	32	-	-	-	-
大葉シュンギク	81	18.0	1.76	36	44	17.1	1.04	42

注) 1. 冬出しは平成17年12月20日および平成18年11月16日播種の平均値、夏出しは平成18年6月29日、平成19年6月7日および7月18日播種の平均値。

2. 栽植密度は株間10cm、条間20cm、4条植え、10a当たり株数32,000本。

3. 葉色は葉緑素計 (SPAD-502) の値。

表 3 「Tiger Ear」の夏出し作型における収穫時草丈別の食味評価と生育特性 (平成19年)

収穫時草丈	食味評価					生育特性		
	えぐ味	苦味	硬さ	歯触り	総合評価	生育日数	収量	葉色
cm						日	t/10a	
15	1.0**	0.7*	0.5*	0.3	1.0**	31	0.97	22
20	0.7**	0.4*	0.4*	0.4*	0.8**	37	1.43	21
25	1.0**	0.4	0.7*	0.3	1.0**	33	2.25	20

注) 1. 15cm収穫は5月、6月および7月播種の平均値、20cm収穫は6月および7月播種の平均値、25cm収穫は5月播種のみ。栽植密度と葉色は表2と同じ。

2. 食味は草丈15cmと20cmは同一サイズ、草丈25cmは20cmの「大葉シュンギク」を0とし、以下表1と同じ。

3. 食味評価の**、*は「大葉シュンギク」の15cmまたは20cm収穫に対し1、5%水準で有意差あり。

[その他]

研究課題名: サラダ用シュンギク優良系統の育成

予 算 区 分: 県特 (サラダ食事業)

研 究 期 間: 平成19年度 (平成17~19年度)

研究担当者: 渡邊敏朗、姫野修一、田中良幸、林田達也